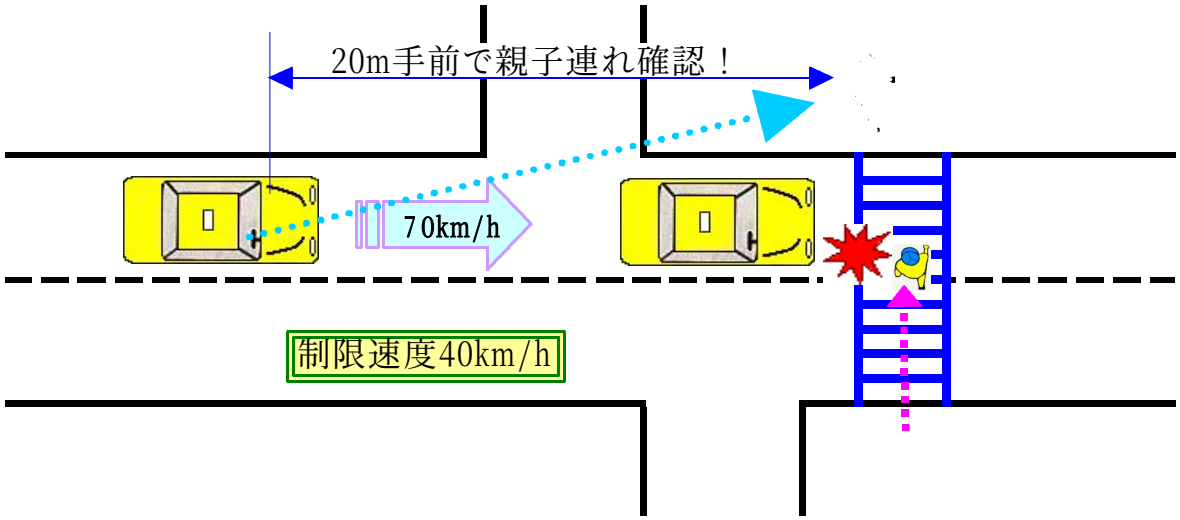
事故事例　〔ハイ・タク　2〕

曜日・時間・天候	日曜日・18時35分・曇
場　　所	国道の変則十字交差点（信号機無し、横断歩道帯あり）
道路の状況	湿り、平坦、交差点、幅員6．0 m
運　転　者	年齢37歳、運転歴11年4ヶ月
乗務開始から事故発生の乗務距離	5 km
損　　害	重傷者1名

〔事故概要〕

点呼を受け営業所から迎え客の運行があったことから出庫し国道を走行中、信号機がなく横断歩道帯がある変則十字交差点において横断報道左側の歩道を歩く親子連れを約20 m手前で発見し注視していたが横断歩道帯を渡る様子がないことから減速しなかったところ、右側歩道から歩行者（子供）が横断してきており、発見が遅れ急ブレーキを掛けたが間に合わず歩行者を跳ね飛ばし重傷を負わせた。



種別　・　業態	小型・一般乗用
乗車定員	5名
当時の乗車定員	1名

【推定原因】

- ○　親子ズレの歩行者一点に気を取られ、前方全体に注視が行き届かなかったため
- ○　制限速度40 km/h 制限のところ70 km/h のスピード超過であった

【事故の要因】

- ○　制限速度を守らず30 km/h も速度超過していた
- ○　夕暮れ時で視界が悪かった
- ○　路面が濡れており滑りやすかった
- ○　変則交差点においての前方注視が不足していた

【運転ミス要因（心身、態度、技術）】

- ○　迎え客があることから現地へ急ぐ気持ちがあった

【事故の再発防止対策】

- ○　制限速度遵守の徹底
- ○　夕暮れ時の視界に対する更なる前方注視の徹底
- ○　信号機のない交差点における安全確認の徹底
- ○　配車係に対し運転者が余裕を持てる迎え客への連絡対応の徹底
- ○　運行に際してのプロドライバーとしての意識と責任感に関する指導